

## 「ハマナスの実」

道東を旅行すると、浜辺の道沿いによくハマナスを見かけます。北海道では野生の花の季節は6月から7月で、8月に入るともう秋の気配で、あまり花を見かけません。しかしハマナスだけはピンク色の鮮やかな花が咲き残っています。旅行者にとっては嬉しい花です。



「ハマナスの花」

8月の原生花園では、ほとんど花が咲いていませんが、ハマナスだけは美しく咲き残っています。

ハマナスはバラ科の灌木(木本)です。冷涼でやせた土地を好み、東北や北海道の浜辺に多く見られます。漢字では「浜茄子」とは書かず「浜梨」と書きます。これは実(果実)の形がナシに似ているからと言われています。しかし実際のハマナスの実は、ナシとは大きさも色も形も全く似ていません。「熟していないナシの実」に似ているとも言われます。(東北地方北部では「シ」を「ス」

に近く発音する傾向があります。その影響で「ハマナシ」が「ハマナス」に訛ったという説が有力だそうです。

ハマナスの実は食用になります。そのままでは食べられませんが、砂糖漬けにすると独特の味わいでおいしいです。

### 「ハマナスの実の砂糖漬け料理」

北海道標津町の民宿で出されました。独特の風味と食感でおいしかったです。



ハマナスは名の通り、浜辺の砂地に自生していますが、比較的冷涼な気候ならどこでも育ちます。北軽井沢は標高 1100 メートル前後で、北海道の気候と似ているので、ハマナスの生育に適しています。今朝も早朝に自転車に乗っていると、商店の店先にハマナスの実を見つけました。お店のお婆さんに聞いたら、実を食べられることを知らないと言っていました。そもそもこれがハマナスの株だということ自体に気づいていなかったようです。



「ハマナスの実（果実）」 *Rosa rugosa*

北軽井沢で見かけると、一見ミニトマトに見えてしまいます。バラ科の植物の証拠に、葉の形と枝のトゲに注目です。（2014年8月 北軽井沢で撮影）

（お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋）